

いおくニュース

IOKU NEWS

Vol. 94

2018年10月号 | October, 2018



報告

奈良県県立高等学校適正化 実施計画（再編計画）、反対も成立。

10 月5日、9月議会に上程された予算・条例・計画の採決がありました。最も注目されたのは、**県立高校の再編計画及びそれに伴う条例変更**でした。私は6月議会に続き、9月議会でもこの計画に反対をしました。

県教委から対象となる校名入りの計画が出たのは、6月8日。再編計画は、**3校減**となる案でした。**大淀と吉野を統合し「奈良南」**に、**宇陀市にある大宇陀と榛生昇陽を統合して「宇陀」へ**、**さいごに、奈良市にある西の京、平城、**



登美ヶ丘の普通科3校を2校に再編し、登美ヶ丘の校舎を「国際」に、西の京の校舎を「県立大付属」とし、校舎が空く平城高校の跡地に、耐震化が必要な奈良高校を移転させるという計画です。

もっと詳しく中面へ

猪奥美里（いおくみさと）プロフィール

1980年奈良市秋篠町生まれ
 平城小学校・平城中学校／ジーク高校（ドイツ）／奈良大学附属高等学校／
 立命館大学・立命館大学大学院（環境経済学専攻）／衆議院議員秘書
 2011年奈良県議会議員初当選 2015年4月2期目当選
 ◆ 経済労働委員会委員 防災・県土強靱化対策特別委員会副委員長



データでみる！奈良県政



今月のテーマ

県立高等学校適正化計画

10月5日の県議会で、計画案が通り公立高校の再編が決まりました。他にも統合が2校あり、今33ある公立高校は、30校になることが決まりました。今の中学2年生は、平城高校、登美ヶ丘高校は受験することが出来ません。

●平城高校、西の京高校、登美ヶ丘高校、奈良高校の今後



適正化計画の序文には「変化がますます激しくなるこれからの時代を生きる子どもたちには、予測困難な社会の変化に受け身で対処するのではなく主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を最大限に発揮し、自ら人生を創出することが求められます」とあります。ここに全く異論はありません。だからこそ、この学校再編自体も関わり合いが持てるような作られ方をすべきでした。



連絡先

〒631-0817 奈良市西大寺北町1丁目1-16 岡本ビル103号
 TEL 0742-53-1093 FAX 0742-53-1094 MAIL info@ioku.jp

ポスティングのお願い

このいおくニュースは、いおくや事務所スタッフ、そしてボランティアの皆さんで手配りをしています。少力で結構ですので、お手伝いいただける方は、ご連絡ください。

今月のいおく



奈良県初の陽子線治療が始まります。奈良県のがん治療の質が向上。



代表質問。知事に対しすべて賛成でも反対でもなく、議論を戦わせるスタイルは変えず。



2ヶ月間のインターン活動のまとめとしてニュースを作成、駅で配りながら演説。

1日 (水)	訪問活動
2日 (木)	訪問活動
3日 (金)	埼玉県庁訪問 (高校生献血、児童養護施設退所者へのケア)
4日 (土)	国民民主党臨時党大会
5日 (日)	連合奈良の日
6日 (月)	奈良県議会がん議連高井病院視察①、 質問準備
7日 (火)	議案説明会、 電機連合奈良地方協議会第31回定期大会
8日 (水)	越田けんじろう応援@兵庫県川西市
9日 (木)	ホームヘルパー協会勉強会
10日 (金)	防災・県土強靱化対策特別委員会
11日 (土)	滋賀県立大学瀧先生訪問
12日 (日)	議会運営委員会
13日 (月)	議会運営委員会、9月定例県議会開会、 奈良青年会議所通常総会
14日 (火)	情報労連奈良県協議会定期総会
15日 (水)	全国都道府県対抗eスポーツ選手権 2019 IBARAKI 茨城ブレ大会
16日 (木)	質問準備
17日 (金)	質問準備
18日 (土)	質問準備
19日 (日)	本会議代表質問
20日 (月)	本会議代表質問②
21日 (火)	本会議代表/一般質問
22日 (水)	越田けんじろう応援@兵庫県川西市
23日 (木)	休み
24日 (金)	訪問活動
25日 (土)	本会議一般質問
26日 (日)	訪問活動、市議会訪問、街頭活動③
27日 (月)	総務警察委員会
28日 (火)	事務作業
29日 (水)	議会事務局研究会
30日 (木)	訪問活動

人

人口減少の時代では、県のこれまでのやり方を変えねばならぬと考え反対をしました。大きく2点。1点目、住民参加と情報公開がない。教育委員会だけで立案し、公表は議会開会のわずか10日前。これでは県民が自らの事として、考え、意見を表明する時間はありません。学校だけでなく減らしていく時代、「お上が勝手に決める」のではなく、我が事として痛みを感じながらも納得感が持てるような運営へと変わっていくためにも、情報公開&住民参加は必要です。2点目、教育委員会だけで立案したことで、縦割りを超えるチャンスが無くなりました。生徒数が減少し学校を減らすと単純に考えるのではなく、コストの最小化と便益の最



大化を縦割りを越え考えることが大切です。例えば生徒数が減り、今のサイズの学校が不要となったので廃校と単純に考えるのではなく、学校の施設は2階以上を使い、1階部分は地域の公民館として使う等ができれば学校としての機能は残り、かつ全体的な行政コストの削減にもなる。人で人は磨かれる。教育現場だけでなく、町づくりにおいてもこれからの時代、県民参加でアイデアを出し合い、想像力で学校そのものも作っていくべきだと考えます。

PICK UP

9月議会代表質問登壇

今議会、国民民主党会派を代表し、久しぶりに代表質問に登壇しました。取り上げたテーマは6点。

- ①災害リスクマネジメントの観点から情報提供について
 - ②奈良県のエネルギー政策について
 - ③種子法について
 - ④ホームホスピスについて
 - ⑤性暴力被害者支援について
 - ⑥児童相談所と警察の連携について
- いずれも命と暮らしを守る、その観点から質問を行いました。

